学校番号	2004

令和８年度　書道科

教科	芸術	科目	書道表現α	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基本的な古典（楷書、行書、草書）、古筆を扱い用筆・運筆および字形や全体の構成などの知識・表現技法を習得し半紙に体裁よくまとめる力を養う。また、線質の一致を理解し、漢字仮名交じり文を半紙に体裁よく書ける力を身につけるようにする。
・書の歴史や漢字の字体、筆順、仮名の字母など書の周辺の基礎的な知識を身につけ、実技と理論をバランスよく習得できるようにする。
・課題に対して自ら考え、改善し、知識や技能を能動的に習得できる力を養う。また、身近に飾れる作品を制作し、書を生活の中に生かすことで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てる。

2　学習の到達目標

1. 書の基礎的な知識や表現の方法、形式などについて理解するとともに、課題に沿って効果的な表現をするための技能を身につけるようにする。
2. 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいた構想や表現の工夫、書の伝統と文化の意味を思考し、書の美や味わいを感得できるようにする。
3. 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書を通して心豊かな生涯や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解している。 基礎的な能力をいかし、効果的な表現の技能を身につけている。	・字形、文字の大きさ、全体構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。 各書体の美の多様性について理解を深め、その書の美を味わい捉えたりしている。	・主体的に書の知識や技能の習得、幅広い表現活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	篆刻	・篆刻の用具、用材や創作の手順について理解し、篆刻の仕方について学習する。 ・姓名印を作る。	a: 用具用材に関する知識や、道具の扱い方を理解している。 b: 篆刻の美しさを理解し表現を工夫している。 c: 落款の意味とその役割、篆刻の意義と技法について理解し意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート 提出作品	活動の様子 提出作品	活動の様子 提出作品 振り返りシート
	漢字の書	鑑賞・臨書・表現 (楷書) ・孔子廟堂碑 ・九成宮醴泉銘 ・皇甫府君碑 ・孟法師碑 (行書) ・蘭亭序 ・集字聖教序 (草書) ・十七帖 ・真草千字文 ・書譜 ・日本の書等 各古典の美について理解し、書体、書風に即した用筆・運筆、字形の取り方を工夫して、4文字を半紙 2 行に臨書する	a: 楷書、行書、草書の古典の美とその技法について理解し、基本的な点画や線質の表し方、用筆・運筆の技能を身につけている。 b:字形の構成や変化と統一などを理解して表現を工夫し、半紙に体裁よく仕上げている。 c: 古典の美とその技法に関心をもち、意欲的、主体的に表現技法を高めようとしている。	ワークシート 活動の様子	活動の様子 提出作品	活動の様子 提出作品 振り返りシート
	理論	・旧字体や書写体について ・草書を読む ・平仮名の字母について ・書道史 ・楷書と行書の筆順について等	・基礎的な知識、丁寧な文字を書く技能を身につけている。 ・書の理論について理解を深め書の美について思考・工夫している。 ・書の理論に関心を持ち意欲的に学習に取り組んでいる。	ワークシート 活動の様子	活動の様子 提出作品	活動の様子 提出作品 振り返りシート

後期	仮名の書	鑑賞・臨書 ・高野切れ第1種、第3種 ・粘葉本和漢朗詠集 ・元歴校本万葉集 ・曼殊院本古今集 ・升色紙 表現の特徴を捉え、書風に即した用筆・運筆を工夫して臨書する。 原寸大の古筆を半紙縦二分の一に臨書する 散らし書きについて 俳句を書く	a: 仮名の書の成立と、運筆の律動性や筆脈の把握を通して、仮名の美の特質を理解し、その基礎的な技法を身につけている。 b:書風の違いを理解し、仮名の表現技法の基礎基本を身につけ、表現を構想し工夫している。 c:仮名古筆に関心を持ち、意欲的、主体的に表現活動に取り組んでいる。	ワークシート 提出作品	活動の様子 提出作品	活動の様子 提出作品 振り返りシート
	漢字仮名交じりの書	・手紙文、詩文等 30 字程度の言葉を半紙に体裁よく書く ・漢字(行書)と仮名の調和 ・連綿の効果 ・構成について 字詰め、行数、 文字の大小、墨の潤滑等	a:目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現など、書の伝統に基づき、作品を効果的、創造的に表現するために必要な技能を身につけている。 b:表現のねらいを達成するために、線質の一致や・字形・全体の構成などについて工夫している。 c:漢字と仮名の調和に関する知識や手紙文などの形式に関心を持ち、表現を高めようとしている。	ワークシート 提出作品	ワークシート 提出作品	活動の様子 提出作品 振り返りシート
	創作	・色紙掛け軸 ・四曲屏風 ・漢字・仮名作品 等 額装 パネル等 漢字(楷書・行書・草書)と仮名の調和等による、全体の構成を工夫しながら、表現する	a:書の美の要素を理解し創造的な表現の為の技能を身につけている。 b:自己の表現のねらいを達成するために、書の美の構成要素などについて工夫している。 c:構想から完成にいたるまで、意欲的・主体的に表現活動に取り組もうとしている。	ワークシート 提出作品	ワークシート 提出作品	活動の様子 提出作品 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度